

### 門信徒新役員紹介

4月1日より、法徳寺門信徒の役員様が変わりました。

#### 責任役員・世話人

高橋 修様(厚木市岡田)

#### 門徒総代・世話人

泉 義章様(厚木市岡田)

新 石井俊一様(厚木市岡田)

新 秋本一美様(厚木市岡田)

#### 仏教壮年会

会長 高橋正雄様(厚木市岡田)

副会長 高橋京一様(厚木市岡田)

壮年会は、世話人様を補佐し、お寺の行事などをお手伝いして頂いております。どなたでもご入会出来ますので、ご希望の方はお寺まで、ご連絡下さい。

### ニコニコ法話会の予定

時間 1時30分～3時頃

6月1日(金)ニコニコ法話会  
(6月は1日です)

7月2日(月)ニコニコ法話会  
お盆法要に関しては、次号(7月発行)に掲載いたします。

### 旧 火葬場



新厚木市斎場(火葬場)の運営が、4月1日より始まりました。私は、その初日に、ご葬儀のご依頼があり、ご遺族に同行させて頂いたいただきました。今回、初めて拝見する機会に恵まれたのですが、私の予想以上の素晴らしい施設でした。その帰り道、法徳寺のすぐ近くにある、旧火葬場に行ってみると既に、門が閉められていました。

前住職の話によると、法徳寺のある岡田地区に旧火葬場が出来た経緯は、岡田が昔から浄土真宗の門徒であり、古来より岡田では火葬が行われていたことに由来するそうです。浄土真宗は、昔から土葬ではなく、火葬が一般的だったのです。(住職)

私が僧侶になってから、早二十数年、今まで何回、ご遺族に同行させて頂いたことでしょうか。以前は、大きな煙突が立っていて、火葬させている間、煙が出ていたのが見えました。「今、火葬されているんだな」と実感させられました。私の寺の近所でしたから、子供の頃から、火葬場の近くも、遊び場でしたので、身近な場所でした。

相模湖第三期連続研修会  
連研(連続研修)は、二年間で計12回の連続した研修を行う会です。研修内容は、浄土真宗の教えを学び、読経、作法も身につけます。受講をご希望される方は、法徳寺住職まで、ご連絡下さい。詳細をお知らせします。

平成24年度 第1回目  
5月23日(水)  
午後1時30分～4時30  
(基本的に2ヶ月に一度、第四水曜日開催です)  
内容  
浄土真宗のみ教えの基本  
場所: 法徳寺

## 降誕会 永代経法要のご案内

平成24年5月2日(水)

(5月のニコニコ法話を兼ねます)

午後1時30分～2時30分頃

(受付は30分前より)

浄土真宗の開祖 親鸞聖人のお誕生を祝う降誕会法要と永代経法要を合同でお勤めいたします。

法話: 住職 伊東英幸

50年に一度の尊いご勝縁であります、親鸞聖人750回大遠忌法要は、昨年から今年にかけて延べ65日間115座の法要が勤められ、総参拝者数143万人に達しました。これからも、次ぎの50年後の大遠忌に向かって、僧侶・門信徒共々に親鸞聖人のみ教えを心の支えとして歩んでまいりましょう。

#### 《法要に持参する物》

- 過去帳・位牌
- お供え用紙
- お経の本(お持ちの方)
- お念珠

# 法徳寺だより

第103号 発行  
浄土真宗本願寺派  
法徳寺  
厚木市岡田5-4-12  
TEL 046-228-3962  
住職 伊東英幸  
校正 伊東英俊  
編集 伊東祐子

### 厚木市の火葬場移転



新 厚木市斎場(火葬場)

場所: 厚木市下古沢548番地

### 前住職、沖縄へ



先日、前住職は、次男(知幸)、孫(英明)と、沖縄へ行ってまいりました。それは単なる観光ではなく宗教施設、及び歴史遺産を巡る旅です。

その中でも、浄土真宗本願寺派名護布教所「平安寺」ご住職の言葉は印象に残りました。「沖縄には琉球王国時代から続く独自の文化や宗教があり、今現在も県民は新しい宗教を受け入れる気持ちも必要もない。ですが本土から仏教徒である住民が移り住んでくるので、徐々に浄土真宗の教えも広まりつつある。それを少しでも手伝いができたら」とのことでした。よほどの強い意志で布教、法務に従事していると大変感心させられました。





### 法徳寺住職 伊東英幸

今年の一月に、知人より、テレビドラマ「最高の人生の終わり方」の撮影に協力していただけないかというご依頼がありました。そのドラマは、主人公が、父の経営する葬儀社を、継ぐというもので、葬儀の場面を撮るのに、お坊さんを探しているということでした。

私は、その日、妻と二人で、東京に出かけていたのですが、出先でその依頼を受けたもので、一日、どこに行っても、何を話しかけられても上の空、そのドラマには、AKB48の前田敦子さんも出ているし、一緒に写真撮ってくれるのだろうかとか、サインしてくれるかなとか、いろいろ、妄想を膨らましていたのです。ところが、その後、電話がないのです。おかしいなと思っ

ていたら、ようやく電話がありました。ドキドキしながら、電話に出ると、開口一番、「すいません、先ほどのお話、無くなりました。お坊さんは、なしで収録することになったそうです。」とのこと、「えー！」いろいろと妄想を膨らました私がバカでしたけど、でも、不安でもあったので、ホッとしたのも正直なところでした。しかし、これもご縁だと思つて、そのドラマを観ることにしたので。そして、こんな言葉で始まりました。

「人は、死に向かつて生きてい

その答えを見つけるために、人は、今よ」というお話をしましたら、「私は、今まで、まったく逆だと思つていました。」と、おっしゃっていました。安心して戴きたいのは、亡き方は、救われなくても、救われていないのは、私たちなのです。

先日テレビを観ておりましたら、ある俳優さんの人生教訓は？「人生とは、しよせん、死ぬまでの暇つぶし。」これも、考えさせれる言葉です。

皆さんに一つ、提案させて頂きたいことがあります。それは、仏様の教えをお聞き下さる時は、今日が、我が人生最後の日だ、今日、人生の卒業式を迎えるというお気持ちでお聞き頂いてはいかがでしょうか。あまり、いい気持ちはいらないかもしれませんが、そういう想像力を働かせてみて下さい。皆さんは、無事、卒業式を迎えられるでしょうか？

お寺に来ていただくのは、安心して人生の卒業を迎えるためであります。それは、つまり、安心して生きるためです。皆さんの中には、お寺の本堂にお参りしただけで、安心するという方もおられると思います。でも、中には、お寺に来ると、ドキドキするとか、お金をいくらかとられるのか不安だとか、住職の顔を見ると、気分が悪くなる(笑)という方もいらっしゃるかもしれません。皆さんは今、そんなことはないかもしれませんが、初めてお寺とご縁が出来た時は、お寺ってどんなところなのだろうか？と不安だったのではないのでしょうか。私は、お寺に対しての思い込みや、仏教に対する思い込みを、少しでも正して差し上げたいのです。お寺は、生きている者が救われる場であり、お参りすることは、とても、良い行いなのです。

この前も、お参りされた方に「お念仏は、亡き方を、成仏させるためではないのです。いつも、見守ってくれて、有難うという意味です。迷っているのは、亡き方ではなく、私たちの方です

話、変わりますが、先日、『13歳のキミへ』という本を読みました。著者は、花まる学習会代表、高濱正伸さんで、「メシが食える大人を育てる」をテーマに、学習塾を経営され、ラジオやテレビ出演も多い方です。その中で『合わない』と言うのは現代病で、『合わせて行くのが人生だ』。世の中は、自分と合わない人、自分と合わない仕事だらけ。しかしそうやって切り捨てていくと、どんどん世界が狭くなってしまふ。ますます、生き難い世界に、自分がしてしまふ。あいつが嫌だ、こいつが嫌だ、あいつがつまらん、こいつがつまらんと言っているけれども、自分が一番つまらん存在かもしれない。またテレビ出演された際、「何のために仕事をしなきゃいけないのですか？」という質問に、「僕は、仕事自体が、

遊びのようになっている人が一番幸せだと思えます。」と、お答えされていました。

私は、その言葉を聞いて思いました。正信偈(親鸞聖人作)の中に、「仏様の仕事は、残された者を救うのがお仕事で、それが遊びのようだ」と説かれています。遊びは、楽しいからやっているのです。そして、見返りを求めることもありません。

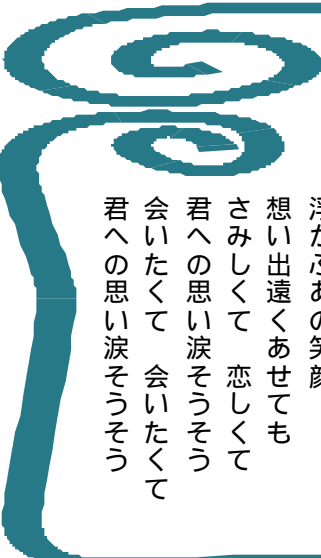
先日、娘の部活動の音楽発表会がありました。その時、私の大好きな曲、

皆さんなら、残された者に、「笑つて生きておくれ、強く明るく生きておくれ、私の分まで生きておくれ」と願うと思います。

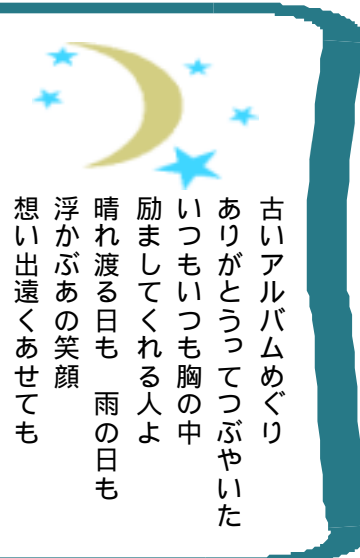
亡き方は、「私は、自分の人生を自分なりに精一杯生きましたから、最後は、笑顔で見送ってほしい」と願っていると思います。かわいそうだとか、不幸だとは思わないであげて下さい。

話、変わりますが、先日、『13歳のキミへ』という本を読みました。著者は、花まる学習会代表、高濱正伸さんで、「メシが食える大人を育てる」をテーマに、学習塾を経営され、ラジオやテレビ出演も多い方です。その中で『合わない』と言うのは現代病で、『合わせて行くのが人生だ』。世の中は、自分と合わない人、自分と合わない仕事だらけ。しかしそうやって切り捨てていくと、どんどん世界が狭くなってしまふ。ますます、生き難い世界に、自分がしてしまふ。あいつが嫌だ、こいつが嫌だ、あいつがつまらん、こいつがつまらんと言っているけれども、自分が一番つまらん存在かもしれない。またテレビ出演された際、「何のために仕事をしなきゃいけないのですか？」という質問に、「僕は、仕事自体が、

話、変わりますが、先日、『13歳のキミへ』という本を読みました。著者は、花まる学習会代表、高濱正伸さんで、「メシが食える大人を育てる」をテーマに、学習塾を経営され、ラジオやテレビ出演も多い方です。その中で『合わない』と言うのは現代病で、『合わせて行くのが人生だ』。世の中は、自分と合わない人、自分と合わない仕事だらけ。しかしそうやって切り捨てていくと、どんどん世界が狭くなってしまふ。ますます、生き難い世界に、自分がしてしまふ。あいつが嫌だ、こいつが嫌だ、あいつがつまらん、こいつがつまらんと言っているけれども、自分が一番つまらん存在かもしれない。またテレビ出演された際、「何のために仕事をしなきゃいけないのですか？」という質問に、「僕は、仕事自体が、



## 涙そうそう 作詞：森山良子



古いアルバムめぐり  
 ありがとうってつぶやいた  
 いつもいつも胸の中  
 励ましてくれる人よ  
 晴れ渡る日も 雨の日も  
 浮かぶあの笑顔  
 想い出遠くあせても  
 おもかげ探して  
 よみがえる日は  
 涙そうそう

一番星に祈る  
 それが私のくせになり  
 夕暮れに見上げる空  
 心いっぱいあなた探す  
 悲しみにも 喜びにも  
 おもうあの笑顔  
 あなたの場所から  
 私が見えたら  
 きつといつか会えると信じ  
 生きてゆく

晴れ渡る日も 雨の日も  
 浮かぶあの笑顔  
 想い出遠くあせても  
 さみしくて 恋しくて  
 君への思い涙そうそう  
 会いたくて 会いたくて  
 君への思い涙そうそう

「涙そうそう」を演奏してくれたので、その意味は、沖縄の言葉で「涙がぼろぼろこぼれ落ちる」です。

作詞者：森山良子さんは、若くしてこの世を去った兄を思い書いたと言われています。

さて、いろいろとお話をさせて頂きましたが、そろそろ、お話をまとめた

近頃のお年寄りの方の一番の願いは、PPK(ピンピン生きてコロリと死ぬ)なのだそうです。でも、それだけを願うのではなく、生きている間から、私は、この世を卒業したら、お浄土へ参らせてもらおうと思つて、生きてほしいのです。そして、仏となつたら、残された者を、救い続けると願つて下さい。私は、死というのは、人生最後に訪れる、一番大切で、大変なお仕事だと思えます。亡き方は、その仕事を無事終えられたのですから、「卒業おめでとう、ご苦労様」と言えるのが、浄土真宗の素晴らしさだと思います。

映画「男はつらいよ」第39作「寅次郎物語」の中の台詞に、ある子供さんから、「おじさん、人間は何のために生きているのかな？」と寅次郎は尋ねられます。すると、「何て言うかな、ほら、生きてりゃ、あゝ生まれてきてよかったなつて思うことが何んかあるだろつ、そのために、人間生きてんじやねえのか」と答えるのです。

皆さんの中では、最近、「生まれてきて良かったな」と思つたのはいつですか？もし、毎日、思っているという方は、最高に幸せな方です。

人生とは、この世に生まれて一回限りの、そして、二度と繰り返すことは絶対のない、素晴らしい贈り物なのだということ、あらためて考えてみて欲しいと思えます。